

洪水浸水想定区域とは

現状の河川流域に大雨が降って河川が増水し、その河川から水が溢れたり、堤防が破堤したときに起こりうる最も危険な浸水状況（最大浸水エリアと最大浸水深）を公表したものです。近年、各地で豪雨による洪水災害が頻発している状況を踏まえ、これまでの計画規模降雨よりも大きな規模の想定最大規模降雨での洪水浸水想定区域図が国・県から公表されました。

計画規模降雨

武庫川流域で約 **100年に1度**起こる大雨
(24時間で247mm)を想定

想定最大規模降雨

武庫川流域で **1000年超に1度**起こる大雨
(24時間で511mm)を想定

※内水による浸水は当マップには含まれていません。
溝や水路等からあふれた内水による浸水にも注意してください。



避難情報発令の目安（武庫川）

水位や降雨を目安に避難情報を発令します。

河川水位レベル 目安	武田尾観測所	生瀬観測所
◆水防団待機水位 県など水防団が水防活動の準備を始める目安	3.10m	1.80m
◆氾濫注意水位 今後の水位情報に注意が必要な水位	4.90m	3.20m
◆避難判断水位（警戒レベル3） 高齢者等避難 を発令する目安	5.90m	3.20m
◆氾濫危険水位（警戒レベル4） 避難指示 を発令する目安で、さらに水位上昇して 氾濫発生の場合、 緊急安全確保 を発令	8.70m	4.60m

国土交通省「川の防災情報」のページでリアルタイムの水位を確認することができます⇒

